

「肩上げ」ってなあに？

お子様の健やかな成長を祝うしるしとして、また、
お子様が着物を着やすくするという先人の知恵
から生まれたのが「肩上げ」です。

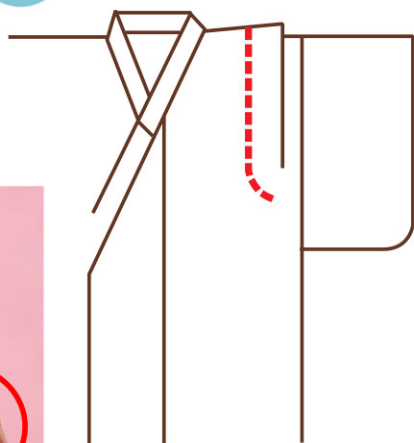
お子様の着物は「肩上げ」をして着るのが一般的
ですので、お宮参り（1ヶ月～3ヶ月）の時に着た
着物を仕立て直して着られる場合は「肩上げ」が
必要となります。

「肩上げ」は呉服屋さんなどに依頼する事も出来
ますが、ご自宅でも簡単にできますので、撮影日、
またはお参りまでにご準備をお願いします。



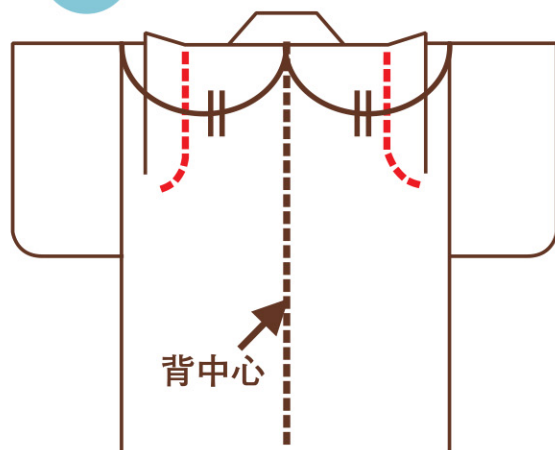
仕上がりの形

前



これが
「肩上げ」です。

後



背中心

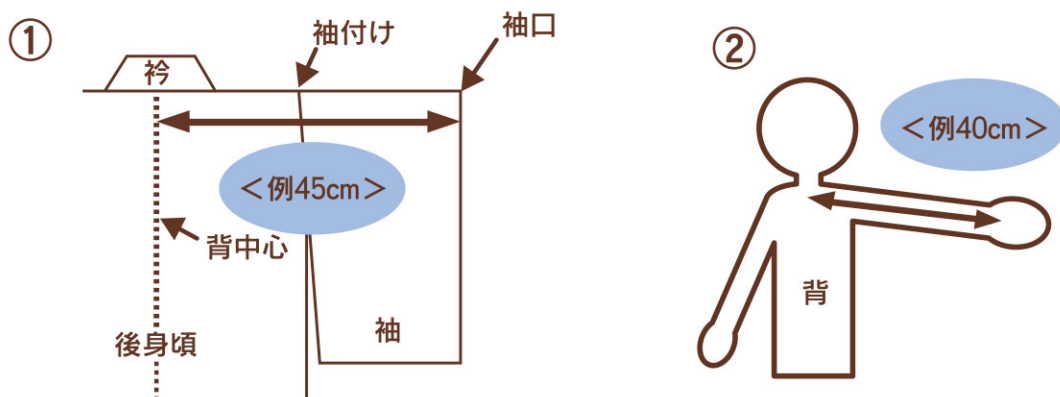
肩上げにLet's try!

採寸をしましょう

- ①着物の背中心から袖口までの長さを測ります。
- ②子供の首の後ろ（真ん中）から、手の甲の真ん中くらいまでを採寸します。
- ③肩上げの寸法を計算します。⇒①から②を引くと必要な「**肩上げ寸法**（つまんで縫いこむ部分）」となります。

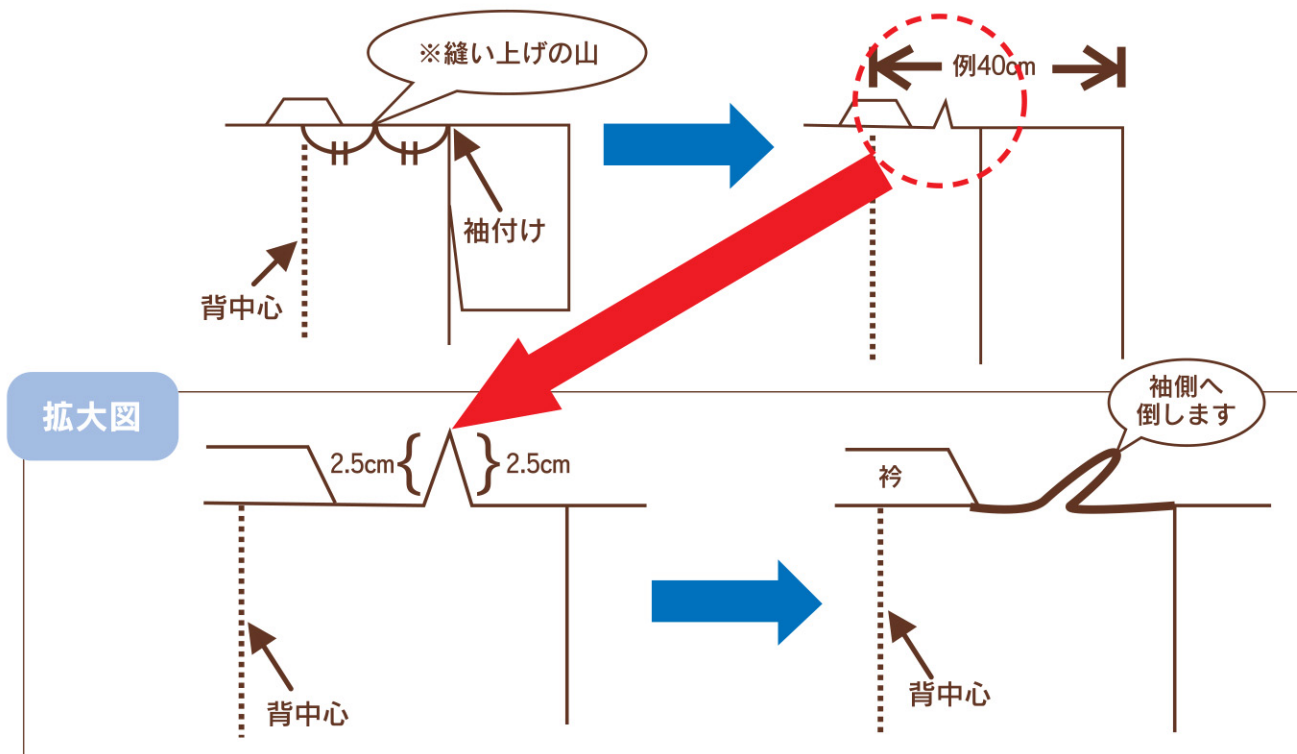
$$\textcircled{1} - \textcircled{2} = \text{肩上げ寸法}$$

<例> 45cm - 40cm = 5cm



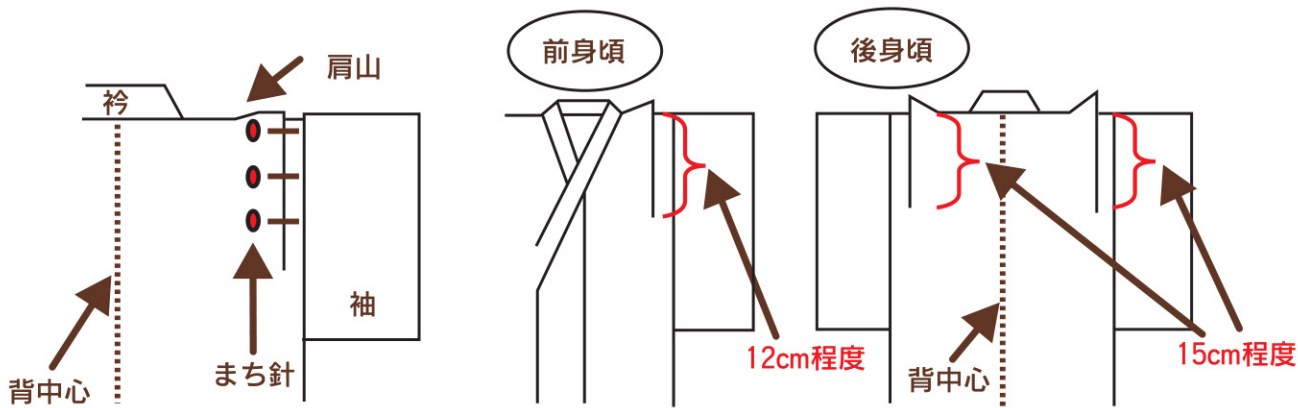
縫い上げの山をつまみましょう

背中心と袖付けの中央が縫い上げの山(※)になります。山を中心とし、肩上げ寸法分をつまみます。(例の場合、山を中心として2.5cmずつ、計5cmとなります)



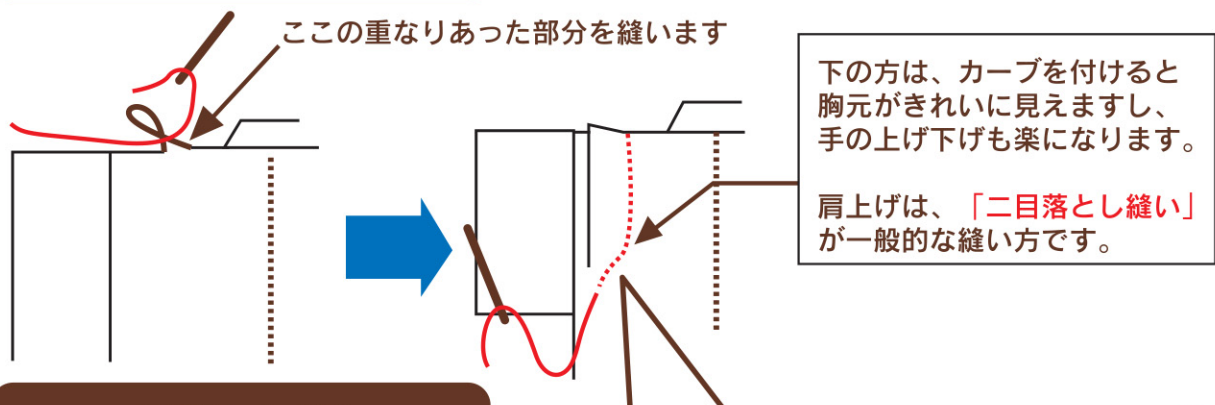
まち針を打ちましょう

倒した分は、前身頃に12cm程度、後身頃に15cm程度下がったところまでまち針を打ちます。



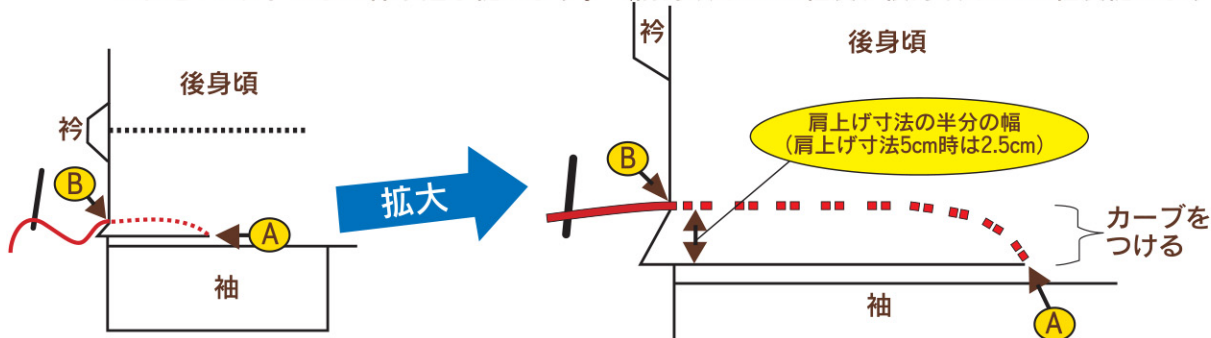
縫っていきましょう

※縫い糸の色は着物の色にあったものをご使用下さい。



二目落とし縫い

着物の表に小さな針目をふた目、裏に大きな針目（約3cm）をひと目、これを1セットとして繰り返し縫います。（前身頃は12cm程度、後身頃は15cm程度縫います）



※手前に袖がくるように着物を置いて縫い始めると縫いやすくなります。

- 左袖：後身頃が上になるように着物を置きます。（袖が手前に来るように）
 AからBの肩山に向かって縫います。（A～Bまでが15cm程度）
 Bのところでは、表に小さい針目が三つできるようにして前身頃の方に向かいます。
- 右袖：前身頃が上になるように着物を置きます。（袖が手前に来るように）
 先ほどと同じように肩山に向かって12cm程度縫います。
 右袖の場合は、前身頃から後身頃に向かって縫っていくと縫いやすいでしょう。

「これで肩上げは完成です!!」